

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年12月24日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年12月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備(B) 吸着塔5B入口配管のカムロック部からの滴下について】</p> <p>当直員が既設多核種除去設備(B)系統点検後の運転圧漏えい確認において、吸着塔5B入口配管のカムロック部からの滴下および配管下部の床面に水溜まりを確認。</p> <p>設備の停止により滴下が止まったことを確認し、カムロック部の袋養生およびカムロック前後の弁閉による隔離処置を実施。</p> <p>水溜まりは建屋の堰内に留まっており、建屋外への流出はない。</p> <p>カムロックパッキンの交換、運転圧の漏えい確認を行い、問題ないことを確認。</p>	GⅢ	12月18日
2	<p>【既設淡水化装置(3-1)入口圧力低警報発生について】</p> <p>免震重要棟集中監視室において、当直員が既設淡水化装置(3-1)運転中に入口圧力低の警報発生を確認。</p> <p>現場確認の結果、漏えいはなく当該設備が停止していることを確認。</p> <p>他の系統へ切り替えて運用可能なため、浄化処理に問題なし。</p> <p>今後、原因調査および再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	12月21日
3	<p>【5号機 放射性廃棄物処理設備の廃液サージタンク循環弁閉側表示ランプの不点について】</p> <p>当直員が5号機 放射性廃棄物処理設備の廃液サージタンク循環弁全閉時に、放射性廃棄物処理建屋中央制御室の閉側表示ランプの不点を確認。</p> <p>現場確認の結果、当該表示ランプ用リミットスイッチの接点不良を確認。</p> <p>今後、リミットスイッチの交換および当該弁の作動試験を行う予定。</p> <p>表示ランプは確認できないものの弁本体の動作には異常はなく、現場で開閉状態の確認が容易にできるため、設備の運転に問題なし。</p>	GⅢ	12月22日